厚木ロータリークラブ週報

JAPAN　第2780地区　Atsugi Rotary Club Weekly

会長　西迫　哲
副会長　常磐重雄
幹事　十亀健志
副幹事　森住　等
会報・IT　石村哲也

人類に奉仕するロータリー

2016～2017　国際ロータリー会長　ジョン・ジャーム

例会場　厚木商工会議所 5F　大会議室
例会日　毎週火曜日　12：30～
事務所　厚木市栄町1丁目16番15号　厚木商工会議所内

http://www.atsugi-rotary.jp　メールアドレス info@atsugi-rotary.jp　TEL.046-222-5811　FAX.046-222-5821

第2741回例会（4月11日）☆司会　小林　透SAA

点鐘　…西迫　哲会長

斉唱　…奉仕の理想

ゲスト紹介

湘南厚木病院
副院長 小児科部長　市堰　浩様
総務課 副主任　岩壁秀夫様

頼住道夫様（日本ティーボール協会神奈川県連盟）

会長報告

◎ガバナー事務所　より
・台湾での「第18回ロータリー国際囲碁大会」のご案内
・4月ロータリーレート　1ドル＝116円
・地区「新会員の集い」のご案内
平成29年5月20日(土)17：00開演
会場　藤沢商工会館「ミナパーク」
・地区研修協議会での履物についてお願い
シューズカバー着用・ハイヒール不可・上履き持参可
・母子健康月間リソースのご案内
・財団学友　中満泉氏　次期軍縮担当上級代表（国連事務次長）任命
・ロータリー財団100周年記念シンポジウムビデオ収録DVD送付

◎平塚ロータリークラブ　より
・創立60周年式典　ご臨席のお礼

◎相模原ニューシティーロータリークラブ　より
・国際ロータリー加盟認証状伝達式のご案内
5月14日（日）　15：30～

◎ひろくんを救う会事務局　より
・孫の「いのち」のための緊急のお願い
土浦南ロータリークラブ　稲本修一　様

◎公益財団法人米山梅吉記念館　より
・賛助会入会のお願い　館報Vol.　29

◎厚木市社会を明るくする運動推進委員会　より
・協力依頼用資料

今日のお祝い　「おめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。」

＊会員誕生日
三宅壯平君（24日）

＊結婚記念日
鈴木茂男君（20日）
壽永純昭君（23日）

＊入会記念日
髙野昌伴君（H28.4.19）

今日の例会（2017年4月18日）

「次年度委員会例会」
担当：次年度会長 常磐重雄君

次回の例会（2017年4月25日）

「自己紹介及び会社紹介」
担当：内山全浩君

幹事報告

◎週報

・相模原南RC

◎例会変更

・海老名RC

4月10日(月)→4月8日(土)「30周年記念式典」

点鐘　14：00

場所　オークラフロンティアホテル海老名

5月 1日(月)→休会(定款に基づく休会)

5月22日(月)→休会(定款に基づく休会)

5月29日(月)→夜間親睦例会(詳細未定)

・海老名欅RC

4月6日(木)→4月8日(土)「30周年記念式典」

点鐘　14：00

場所　オークラフロンティアホテル海老名

4月20日(木)→4月23日(日)

「海老名少年少女ミニバスケットボール大会」

集合　16：00

場所　海老名総合運動公園　体育館

5月 4日(木)→法定休日につき休会

5月18日(木)→休会(定款第6条第1節(c)項により)

委員会報告

◎次年度幹事

国際ロータリー第2780地区

2017年地区研修協議会のご案内

スマイル

西迫　哲会長

土曜日に開催されました厚木オープンふれあいティーボール大会に沢山の方のご参加お手伝いありがとうございました。本日は頼住理事長、ようこそお越し下さいました。

十亀健志君

入会記念のお祝いありがとうございます。7年が経ちました。早いですね。

栗原良幸君

4月8日のティーボール大会、雨の中会長始め出席して頂いた会員の皆さん、有難うございました。あゆチャンネルでも来週の月曜から「こちらワクワク情報局」で一週間大会の開会式の様子が放映されます。

市井雄二君

妻へのBirthdayプレゼントありがとうございました。本人も大変喜んでおりました。

永井裕敏君

入会記念ありがとうございます。これからもよろしくお願いします。

今日のお花

山ツツジ(壽永純昭君)

例会「母子の健康月間（日本版ネウボラ)」

担当：社会奉仕委員長 髙橋　浩君

講師：湘南厚木病院 副院長 小児科部長 市堰　浩様

「日本版ネウボラ」

地域における妊娠・出産・子育ての切れ目のない相談拠点として

日本の母子保健の課題

（1）医療と福祉の連携が充分にできていない。

（2）母親の育児をサポートする「生活モデル」のサポートが地域で不足している。

今後の日本に必要な母子支援体制として、お手本にしたのがフィンランドの「ネウボラ」である。

■ネウボラ(neuvola) とは？

“neuvola”とは、「相談 (neuvo) の場」という意味で、高橋（2015）は、「出産・子育て家族サポートセンター」と訳している。

・対象：

妊娠期～就学前の子供を持つ女性と家族。妊娠期の家族を対象とする「出産ネウボラ」と、誕生後、就学前までの子供を持つ家族を対象とする「子どもネウボラ」がある。

・活動：

出産ネウボラ：

妊娠中の定期健診、検査、親学級を、**同一の保健師・助産師**が行う。妊娠中は8回以上の健診（医師による検査も含む）、出産後は担当者による家庭訪問、保健師・医師による検診がある。

パートナーの来所も推奨、「総合健診」は家族全員が参加。他の専門職の支援も受けることが可。

「母親手当」をすべての妊娠に支給。**「現金」または「現物（育児パッケージ）」**のいずれか選択。（所得制限なし。双子の場合は3人分、三つ子の場合は6人分）

ネウボラで妊娠証明書を受けて、４ヶ月目までに妊婦健診を受けていることが支給の条件。

フィンランド版「ネウボラ」の利点

（１）妊娠がわかった時点から、子供が誕生し小学校に入るまで、家族の健康に関わる全てのことを相談できる**ワンストップ**の拠点である。

（２）「ネウボラ」を通して、医療・福祉などの必要なサポートを受けることができる　。

（３）「**困る前につながる**」状況が生まれ、リスクの早期発見・早期支援が可能となる。

日本での妊娠・出産・産後の母子保健体制の現状

・出産の**99%は医療施設**。妊娠中から産後一か月までの健診は出産する医療施設で。

・産前の「母親学級」「両親学級」は医療施設で行う場合もあり、行政主催の学級に行かない人も。

・産後１ヶ月健診以降の乳児健診は、地域の保健所やかかりつけの小児科で受ける。

・行政の保健師による新生児訪問は**希望者のみの対象**。生後４ヶ月までに行う「こんにちは赤ちゃん訪問」も、訪問員は専門職でない。

・日本の出産の特徴としての、**「里帰り」**。

日本においては、**妊娠・出産期と出産後１ヶ月以降で母子支援を主に担う機関が分断**されており、出産施設での健診は、母子のみを対象とし、医療的な視点が中心となっており、パートナーを含めた家族全体をみていない。

行政にとって、産前学級は妊婦との接点となる機会ではあるが、**主に初産婦を対象**としており、経産婦との接点になっていない場合が多い。

止まらない、日本の少子化！

２０１６年の日本の出生数は厚労省の推計で９８万１０００人と初めて１００万人を下回る。

「第３次少子化社会対策綱領」で、**地域での妊娠・出産・子育ての切れ目のない相談拠点としての「子育て世代包括支援センター」**を２０２０年度末までに全国展開することを目標。

フィンランドの**「ネウボラ」**をモデルとして**日本版「ネウボラ」**を。

日本版ネウボラ導入に必要な３つのキーワード

1.利用者が無償（または低い負担）で利用できること

８００か所・99.8%の利用率・「母親手当」（現金１４０ユーロ/1人）「育児パッケージ」（４万円相当の育児用品セット）

2.他機関との連携

ワンストップの拠点・利用者転居の場合・電子ネットワークに一元化

3.担当する家族を一貫、継続してみていける体制

妊娠中に約１０回、1回３０～４０分間の健診・「総合健診」

「対話」を通した「信頼感」が継続した関わりの基盤となる。

厚木ロータリークラブ会長杯 第５回厚木オープンふれあいティーボール大会

日時：平成29年4月8日(土)

会場：厚木市営及川球技場

バッティング指導：坂巻　豊氏(元東京ヤクルトスワローズ)

出席報告　＜会員 41 名、出席対象 36 名＞

3 月 21 日例会　　確定出席率 87.50％	4 月 11 日例会　　出席 27 名　欠席 9 名　出席率 75.00％
＜事後メイク＞	＜欠席＞ 髙橋伸一郎君・髙橋　宏君・滝澤　勇君・中和信治君 石村哲也君・永石あつし君・畑中雄太君・前島憲司君 米山尚登君